

デービッド・アトキンソン

『新・観光立国論』東洋経済新聞社 2015 年

質疑応答

B. 外国人未対応問題が三つほど述べられているが、A グループではどれが一番実現できそうだと考えるか。

答え→ 情報提供=券売機>交通費

- ・ 交通費…日本の鉄道料金は世界的にも上位に入っているので、全ての運賃を下げるのは難しいのではないか。
- ・ 情報提供…ネット利用者は増えているので、情報はあふれており、拡散もされているので心配は少なくなっているのではないか。
- ・ 券売機…実際に券売機近くの ATM は増えてきている。まだまだ全てについているわけではないが、将来的には実現できるのではないか。

C. 多言語対応はそこまで重要でないかと筆者は考えているのか。

答え→筆者は多言語対応を重要だと考えていると思う。

- ① 理由としては、本書で筆者は外国人観光客を呼び込むためには文化財の整備が非常に重要だとしており、そこにはその文化財が何に使われていたのか、また実際にそこであった歴史ドラマなどの詳しい説明も含まれており、その説明を外国人観光客が理解するためには多言語対応は必要不可欠だから。
- ② また、本書には多言語対応について書かれている文章があり、その中で筆者は「これには、費用の問題もあるでしょうが、やはり言語にも多様性がないと外国人観光客はやってきませんので、必要経費と割り切るべきでしょう」と、多言語対応の必要性を述べている。

D. 国際観光客到着数ランキングで、日本が 26 位から 12 位になった要因は何か。

→中国の沿海部における急激な発展で急増した富裕層による爆買いの影響。